

こすもす

2023. 夏号

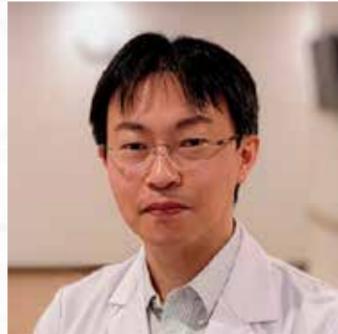
Vol.8

Contents

- これからの「がん教育」
～教育現場と外部講師
（医療従事者、がん経験者）
の連携～
- ～学校側から～
- インフォメーション



これからのがん教育 教育現場と外部講師(医療従事者、がん経験者)の連携



佐久医療センター 放射線治療科 大久保 悠

現在は日本人の約2人に1人ががんになるとされており、とても身近な病気です。がんは早期発見・早期治療が重要ですが、日本人のがん検診率は諸外国と比較して低い値となっています。その要因のひとつとして、がんやがん検診に対する正しい情報や知識が不足していることが挙げられています。現在では小・中学校、高校の学習指導要領にも「がんについても取り扱う」ことが明記されており、教育現場では「がん教育」が行われるようになってきました。未来を担う子どもたちが、生活習慣の改善を含めたがん予防、早期発見・早期治療の大切さを知ることで、健康と命の大切さについて学ぶだけでなく、がん患者や家族に対する誤解や偏見をなくすことにもつながります。また、がん教育について学んだ子どもたちが家庭に教育内容を持ち帰ることで、家族(大人たち)ががんについて理解を高めていくことも期待されています。厚生労働省や日本対がん協会、各都道府県などががん教育に使用できる教材を公開していますが、ただでさえ忙しい学校の先生が、がんについての深みのある授業を行うことは大変です。そこで、教材と合わせて重要視されているのが「外部講師」です。医師や看護師、保健師、薬剤師といった専門知識を持った医療従事者が外部講師として授業に参加することで、科学的根拠に基づいた知識を提供することができます。またがん患者やがん経験者が外部講師として参加することで、健康や命の大切さについて、より具体的な経験・体験として学ぶことができます。しかし文部科学省の報告では、2021年度に外部講師を活用したがん教育の授業を実施したのは8.4%のみ(小学校7.6%、中学校10.6%、高校7.1%)であり、まだまだ教育現場との連携が不十分な状態です。

佐久医療センターでは、2022年12月に閉校前の佐久市立青沼小学校の5・6年生を対象に、がん教育の授業を行いました。担任の先生と違う外部講師の授業に興味深かったのか、みんなすごい集中力で授業に参加してくれたのが印象的でした。授業後の感想には「これからは、自分の周りの人達に検診することをすすめたりしようと思いました(5年生)」というものもあり、きっとご家庭でも話題に出してくれたことと思います。今後も教育現場と連携して、未来を担う子どもたちのがん教育を進めて行きたいと考えています。

【小学校での授業後の感想(5・6年生)】

(1) わかったことや感想

しっかりと予防して、がんになるリスクを少しでも減らすことが大切だと思った。11歳くらいから検査することを知った。



これからの「がん教育」について

長野県立野沢南高等学校 保健体育科 齋藤 恭兵



野沢南高等学校は2020年度にパイロット校として授業研究・授業公開を行っています。

現在、教育現場で求められることは「がんは身近にあるものだ」ということを子どもたちに感じさせることだと考えます。誰ものがんと向き合わなければいけない時間が将来のどこかでやってくるかもしれない、そういう時代になってきています。授業を通して思うことは、若い世代の子どもたちはがんを自分ごとのように捉えていないような雰囲気があります。どこか自分には関係ないものではないかと危機感のない生活を送っているように感じます。その当事者意識の低さが、日本のがん検診率の低下につながっているように思えます。

これからのがん教育は、子どもたちに正しい知識を教えるだけでなく、「記憶に残る瞬間」を作る授業や機会が必要です。そのためには、ケーススタディや実体験講話を实践し、受講者の感情の振り幅が大きい体験をさせる事が生徒の長期記憶につながります。そういった活動を継続的に行うことで、がんに対する危機感を持たせ、予防(生活習慣の見直し、検診の実施)につなげることができるのではないのでしょうか。

がん外部講師の活用する際の依頼方法

長野県教育委員会HP「がん教育の手引き」を参考にしてください。
「がん教育外部講師派遣依頼書」作成し医療機関におくり、日程や内容の調整をおこないます。長野県がん外部講師登録者は長野県教育委員会のホームページに掲載しています。

佐久医療センターの取り組み

佐久医療センターでは、2023年度より、多職種の医療スタッフから構成された「佐久医療センターがん教育外部講師担当者チーム」が活動を開始しています。今までの活動としては、2019年度から長野県内の中学校、小学校、高等学校3校に出向きがん教育に取り組んできました。これからも、学校側のニーズに応えることができる、がん教育を目指して活動していきたいと思っています。



外部講師を活用したがん教育ガイドライン 令和3年3月一部改訂文部科学省



～インフォメーション～

「佐久がん基礎講座」

医療従事者対象 参加費無料
会場：佐久医療センター1階ホール

■ 2023年8月9日（水）19：00～20：00

「放射線治療」

講師：佐久医療センター
放射線治療科医師 大久保 悠 先生

■ 2023年10月11日（水）19：00～20：00

「スピリチュアルペインとスピリチュアルケア」

講師：佐久医療センター
緩和ケア内科医師 山本 亮 先生

■ 2023年12月13日（水）19:00～20:00

「がん患者の呼吸苦」

講師：佐久医療センター
呼吸器内科医師 柳澤 悟 先生

「がん診療セミナー」

医療従事者対象 参加費無料
会場：佐久医療センター1階ホール

■ 2023年8月18日（金）18：00～19：00

「親であるがん患者と子どもの支援」

講師：慶応義塾大学病院
看護師兼チャイルドライフスペシャリスト
伏見 幸弘 先生

お問い合わせはこちらまで

【事務局】

佐久総合病院佐久医療センター がん診療センター
電話：0267-62-8181
Eメール：gan-kyo10@sakuhp.or.jp
篠原・高見澤

がんサロン「もくらん」

5月よりがんサロンもくらんを対面で再開しています。奇数月にはミニミニ学習会も開催しています。お問い合わせは「がん相談支援センター」（直通 0267-88-7184）まで連絡をいただくか、佐久医療センターのホームページでご確認ください。



就労相談会

～治療と仕事の両立に関する様々な困りごと～

相談無料
要予約

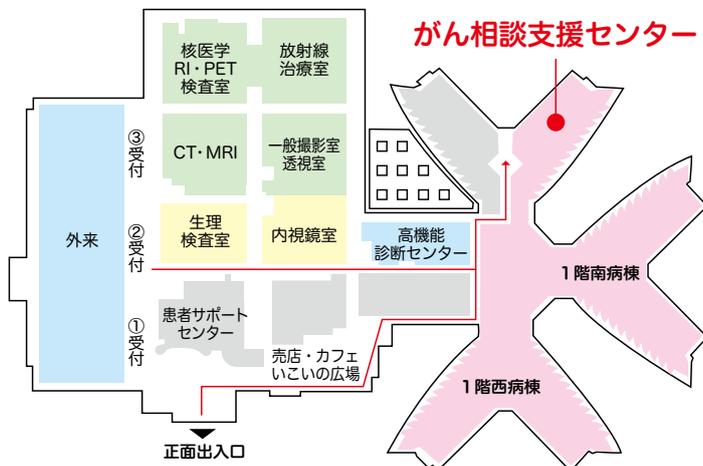
社会保険労務士による
相談会

ハローワーク長野による
就職相談会
オンラインでの相談も
承ります。

治療と仕事の両立
支援相談会

ご相談・お問い合わせはがん相談支援センターまで

佐久医療センター 1階平面図



編集後記

今回は「がん教育」について取り上げ、外部講師として授業をおこなった医師、実際にモデル授業を経験した先生からの声をお届けしました。これからも、子どもたちが「がん」について正しく理解することができるよう、医療者としてお手伝いできればと思っています。



JA長野厚生連 佐久総合病院佐久医療センター

がん相談支援センター

☎0267-88-7184